

3. 底生動物調査

1987年8月24日と12月1日定点において採泥して底生動物の分布を調査した。方法は前報と同じである。

結果は表3と図6に示す通りで線虫類、定在目、および遊在目が多くみられ、その他夏季では重量比で短尾類の比率が高く、また冬季は端脚類が比較的多く出現した。一般的な傾向としては前年度と同様に夏季大形個体が多くみられるようである。

表3 底生動物調査

月 日	8. 24			12. 1		
調査地点	1	4	10	1	4	10
線虫類	* 127 (6)	701 (175)	96 (134)	350 (99)		
遊在目	64 (< 3.2)	478 (701)	382 (3481)	382 (99)	892 (968)	319 (223)
定在目	1401 (271)	1815 (2666)	510 (8156)	828 (532) 127 (32)		
蟻類	32 (226)	32 (3)	32 (102)			
ヤムシ類				96 (16)	319 (45)	
クマ目	159 (10)			32 (< 3.2)	32 (3)	32 (< 3.2)
タナイス目			32 (32)			96 (38)
端脚目				32 (6)	350 (137)	350 (26)
長尾類				127 (217)		
短尾類			32 (7389)			64 (8395)
不明	32 (< 3.2)			32 (309)		
合計	1815 (513)	3058 (10934)	1243 (20517)	542 (121)	2548 (2198)	1243 (364)

* : 個体数 / m^2 , () : 湿重量 (mg) / m^2